

# 学校と地域社会とのつながり再考

## ～「社会に開かれた教育課程」を問う～

日 時：2019年6月8日・土・13時30分～16時00分（受付13時～）

場 所：香林坊ラモーダ（金沢学院高校サテライト教室）

〒920-0961 石川県金沢市香林坊2丁目4-30

交通アクセス JR 金沢駅から北陸鉄道香林坊方面行きバスで6分、香林坊バス停下車すぐ

（地図参照 日本銀行金沢支店北側）

### ■ねらい

学習指導要領改訂のキーワードとして、「主体的で対話的で深い学び」・「社会に開かれた教育課程」の2つがよく指摘されます。「主体的で対話的で深い学び」については、アクティブ・ラーニングの語句とともに活発な議論がなされていますが、「社会に開かれた教育課程」についての議論はあまりなされていないといえます。とはいえ、「学校と地域社会や地域の人々をつなぐ」ことは、21世紀の学校教育の在り方を考えるためにはきわめて重要な視点です。今までとはことなつた新しい視点で社会への開かれ方、社会とのつながりを問い直す必要があるからです。格差社会の進行による子どもの貧困、児童虐待、いじめ等によって子どもを取りまく状況は急激に変化し、これまで全員が同じスタートラインにたつて行われてきた学校教育に多くの課題が見えてきています。

そこで、今回の公開研究会では、不登校の子どもたちを中心にすえた実践と社会福祉の視点からの実践発表をとおして、学校教育の課題と展望を考えたいと思います。

どなたでも参加可能です。ふるってお越しただけますと幸いです。

### ■報告（テーマは仮題）

#### 「つながり」のための教育

～人・社会とのつながりや地域（自然）が持つ教育の可能性を通して～

小矢田学紀氏（金沢学遊 家庭教育アドバイザー、キャリア教育コーディネーター）

#### スクールソーシャルワーカーの支援活動からみえる学校教育の課題

竹澤 賢樹氏（金沢学院大学）

### ■報告者略歴

・小矢田学紀氏

中学の頃に“金八先生”に憧れ、教員を目指し金沢大学（教育学部中等教員養成課程）へ入学するも、自身の思い描いた教育学部のイメージとの乖離に悩み、中退。その後、家庭教師派遣や学習塾のマネジメントに携わり、講師育成や家庭教育相談を中心に22年間で2000人を超える生徒の学習面をサポートする。これからの時代を見据え平成30年10月に『金沢学遊』を立ち上げ、現在は家庭教育アドバイザー・キャリア教育コーディネーターとして、家庭教育を多面的にサポートしている。

・竹澤 賢樹氏

福井県社会福祉士会会長、福井県里親会副会長。

平成13年4月より、福井県内の小中学校において児童生徒の相談支援活動を始める。

平成20年4月より、スクールソーシャルワーカー活用事業が全国的に導入されるなか、福井県でスクールソーシャルワーカーとして子どもたちの相談支援にあたる。現在、福井県教育委員会スクールソーシャルワーカースーパーバイザーとして現任者の支援を行っている。

（裏面に、日程・会場地図・問合せ先が明記されています）

■ 日 程

- 13:00~13:30 受 付
- 13:30~13:45 開会行事
- 13:50~14:50 実践報告
  - ・ 13:50~14:20 報告 1
  - ・ 14:20~14:50 報告 2
- 14:50~15:00 休 憩
- 15:00~15:50 研究協議
- 15:50~16:00 閉会行事



※会場は金沢市内中心部にあり、兼六園、金沢21世紀美術館等も徒歩圏内に立地しております。

■ 問合せ先

小嶋 祐伺郎（金沢学院大学，日本学校教育学会実践研究委員）  
メール：o-yujiro@kanazawa-gu.ac.jp Tel：076-229-8780